



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月3日

上場会社名 住友精化株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4008 URL <http://www.sumitomoseika.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 雄介
 問合せ先責任者 (役職名) 経理企画室部長 (氏名) 近藤 憲二 (TEL) 06-6220-8515
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績 (平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	72,237	9.0	7,981	30.9	7,465	30.3	4,764	21.8
28年3月期第3四半期	66,286	△5.1	6,097	6.0	5,728	△15.6	3,910	△20.7

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 5,124百万円(36.9%) 28年3月期第3四半期 3,742百万円(△52.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	345.43	—
28年3月期第3四半期	283.54	—

※平成28年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	105,612	59,919	54.4
28年3月期	104,576	56,130	51.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 57,420百万円 28年3月期 53,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
29年3月期	—	7.50	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	37.50	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の29年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は7円50銭となり、1株当たり年間配当金は15円となります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想 (平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	8.0	9,000	21.5	7,500	18.5	5,000	24.6	362.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮してあります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	29年3月期3Q	13,972,970株	28年3月期	13,972,970株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	180,578株	28年3月期	180,450株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	29年3月期3Q	13,792,445株	28年3月期3Q	13,792,582株

※平成28年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 3
3. 四半期連結財務諸表	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8
(セグメント情報等)	P 8
4. 第3四半期連結決算概要	P10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費にも持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかながら回復基調が続きました。一方海外経済は、欧米では地域格差があるなかで緩やかな景気回復が続いたものの、英国のEU離脱問題に加え、米国の政策に関する不確実性の高まり、中国をはじめアジア新興国等の経済動向など、先行きの不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は722億3千7百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益は79億8千1百万円(前年同期比30.9%増)、経常利益は74億6千5百万円(前年同期比30.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は47億6千4百万円(前年同期比21.8%増)となりました。

なお、平成26年3月期より、当社グループの業績をより適切に管理・開示するために、順次、海外連結子会社の会計年度終了日を12月31日から連結会計年度と同じ3月31日へ変更していることに伴い、前第3四半期連結累計期間に1社、当第3四半期連結累計期間には1社が1月1日から12月31日までの12ヶ月間の実績を連結しております。

これらの海外連結子会社にかかる連結期間差異の影響を除いた当期業績は、前期比で売上高は34億9千5百万円増(5.3%増)、営業利益は17億7千9百万円増(29.2%増)、経常利益は16億3千2百万円増(28.5%増)となります。

セグメント別業績の概要は次のとおりであります。

(化学品セグメント)

当セグメントでは、売上高は128億6千7百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は14億8千1百万円(前年同期比18.2%減)となりました。これは微粒子ポリマーなどの販売数量が増加したものの、国内連結子会社において一部の転売事業を終了したことなどによる影響であります。なお、当セグメントでの海外連結子会社にかかる決算期変更の影響は軽微であります。

(吸水性樹脂セグメント)

当セグメントでは、売上高は484億7千8百万円(前年同期比16.8%増)、営業利益は59億8千9百万円(前年同期比59.1%増)となりました。なお、当セグメントで海外連結子会社の決算期変更にかかる影響を除き、前期と比較しますと、売上高は46億1千8百万円増(11.1%増)、営業利益は21億1千8百万円増(56.3%増)であります。これは、原油価格の下落による製品価格の軟化と円高の影響があるなかで、東南アジア、中国等の新興国向けの販売数量が増加したことによるものであります。

(ガス・エンジニアリングセグメント)

当セグメントでは、売上高は108億9千2百万円(前年同期比4.6%減)、営業利益は4億9千8百万円(前年同期比1.4%減)となりました。これは、海外においてエレクトロニクスガスの販売数量が減少したことによるものであります。なお、当セグメントでの海外連結子会社にかかる決算期変更の影響は軽微であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産が減少し売掛債権が増加したことなどから、前期末に比べ10億3千6百万円増加し、1,056億1千2百万円となりました。負債合計は、借入金が増加したことなどから、前期末に比べ27億5千2百万円減少し、456億9千3百万円となりました。純資産合計は、前期末に比べ37億8千8百万円増加し、599億1千9百万円となりました。この結果、自己資本比率は、54.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)の連結業績予想につきましては、平成28年10月31日に公表した予想に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後の様々な要因によって差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である海外会社2社について同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より、当該会社のうち1社(住友精化貿易(上海)有限公司)については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの12ヶ月間を連結しており、仮決算を行う連結子会社1社の平成28年1月1日から平成28年3月31日までの売上高は24億9千2百万円、営業利益は1億8百万円、経常利益は1億1千万円、税金等調整前四半期純利益は1億1千万円であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を繰延べております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,622	16,808
受取手形及び売掛金	19,879	23,173
商品及び製品	12,205	9,515
仕掛品	347	505
原材料及び貯蔵品	2,184	2,787
その他	3,182	3,266
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	52,417	56,051
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,297	15,206
機械装置及び運搬具(純額)	13,048	17,433
その他(純額)	21,926	11,854
有形固定資産合計	47,272	44,494
無形固定資産		
その他	207	262
無形固定資産合計	207	262
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	749	772
その他	4,040	4,141
貸倒引当金	△110	△110
投資その他の資産合計	4,679	4,803
固定資産合計	52,159	49,560
資産合計	104,576	105,612
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,059	13,079
短期借入金	10,909	8,124
未払法人税等	1,515	1,570
賞与引当金	768	383
その他	2,493	3,117
流動負債合計	25,745	26,275
固定負債		
長期借入金	21,036	17,819
退職給付に係る負債	1,475	1,484
その他	187	113
固定負債合計	22,700	19,417
負債合計	48,445	45,693

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,698	9,698
資本剰余金	7,539	7,539
利益剰余金	34,035	37,765
自己株式	△259	△260
株主資本合計	51,012	54,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	329	582
為替換算調整勘定	2,486	2,212
退職給付に係る調整累計額	△280	△116
その他の包括利益累計額合計	2,535	2,678
非支配株主持分	2,582	2,498
純資産合計	56,130	59,919
負債純資産合計	104,576	105,612

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	66,286	72,237
売上原価	50,097	53,703
売上総利益	16,188	18,534
販売費及び一般管理費		
発送運賃	2,173	2,657
従業員給料及び賞与	2,133	2,156
賞与引当金繰入額	142	144
退職給付費用	158	227
研究開発費	1,657	1,812
その他	3,824	3,552
販売費及び一般管理費合計	10,090	10,552
営業利益	6,097	7,981
営業外収益		
受取利息	51	78
受取配当金	36	36
その他	53	41
営業外収益合計	141	156
営業外費用		
支払利息	154	127
為替差損	276	518
その他	79	26
営業外費用合計	510	672
経常利益	5,728	7,465
特別利益		
固定資産売却益	23	—
投資有価証券売却益	30	—
特別利益合計	54	—
特別損失		
固定資産除却損	159	120
固定資産売却損	—	16
特別損失合計	159	137
税金等調整前四半期純利益	5,622	7,328
法人税等	1,484	2,400
四半期純利益	4,138	4,927
非支配株主に帰属する四半期純利益	227	163
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,910	4,764

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	4,138	4,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19	253
為替換算調整勘定	△395	△219
退職給付に係る調整額	18	163
その他の包括利益合計	△395	197
四半期包括利益	3,742	5,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,515	4,907
非支配株主に係る四半期包括利益	227	217

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	化学品	吸水性樹脂	ガス・エンジニアリング	計
売上高				
外部顧客への売上高	13,365	41,498	11,421	66,286
セグメント間の内部売上高又は振替高	23	0	48	72
計	13,388	41,499	11,470	66,358
セグメント利益	1,811	3,763	505	6,080

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,080
セグメント間取引消去	17
四半期連結損益計算書の営業利益	6,097

3 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」に記載のとおり、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である海外子会社3社について同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より、当該会社のうち1社(スミトモ セイカ アメリカ インコーポレーテッド)については決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は、平成27年1月1日から平成27年12月31日までの12ヶ月間を連結しておりますが、業績に与える影響は軽微であります。

また、第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い「化学品」セグメントに属しておりました「工業薬品事業」を「ガス・エンジニアリング」セグメントに区分変更しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	化学品	吸水性樹脂	ガス・エンジニアリング	計
売上高				
外部顧客への売上高	12,867	48,478	10,892	72,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	0	39	76
計	12,904	48,478	10,931	72,313
セグメント利益	1,481	5,989	498	7,969

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	7,969
セグメント間取引消去	11
四半期連結損益計算書の営業利益	7,981

3 報告セグメントの変更等に関する事項

「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」に記載のとおり、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である海外子会社2社については同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については必要な調整を行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より、当該会社のうち1社（住友精化貿易（上海）有限公司）については連結決算日である3月31日に仮決算を行い連結する方法に変更しております。

この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は、平成28年1月1日から平成28年12月31日までの12ヶ月間を連結しており、仮決算を行う連結子会社の平成28年1月1日から平成28年3月31日までの売上高は化学品セグメントが1千2百万円、吸水性樹脂セグメントが23億8千6百万円、ガス・エンジニアリングセグメントが9千4百万円、セグメント利益又はセグメント損失（△）は、化学品セグメントが1百万円、吸水性樹脂セグメントが1億1千1百万円、ガス・エンジニアリングセグメントが△4百万円であります。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 平成29年3月期 第3四半期連結決算概要

平成29年2月3日
住友精化株式会社

1. 業績

(単位:百万円)

	平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	増減	平成29年3月期 (予想)
売上高	66,286	72,237	5,951	94,000
営業利益	6,097	7,981	1,883	9,000
経常利益	5,728	7,465	1,737	7,500
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	3,910	4,764	853	5,000
1株当たり四半期(当期)純利益	283円54銭	345円43銭	61円89銭	362円58銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	7.2%	8.6%	1.4%	9.2%
平均為替レート(円/\$)	121.71	106.69	—	105.20
ナフサ価格(円/KL)	45,600	32,300	—	33,300

(※) 前期及び当期におきまして、一部海外連結子会社の決算期を変更しており、これに係る影響を除いた当第3四半期連結累計期間業績は前年同期比で、売上高は34億9千5百万円増(5.3%増)、営業利益は17億7千9百万円増(29.2%増)、経常利益は16億3千2百万円増(28.5%増)であります。

2. 部門別売上高・営業利益

(単位:百万円)

		平成28年3月期 第3四半期	平成29年3月期 第3四半期	増減	平成29年3月期 (予想)
化学品	売上高	13,365	12,867	△ 497	18,000
	営業利益	1,811	1,481	△ 329	1,900
吸水性樹脂	売上高	41,498	48,478	6,979	60,500
	営業利益	3,763	5,989	2,225	6,500
ガス・エンジン ニアリング	売上高	11,421	10,892	△ 529	15,500
	営業利益	505	498	△ 7	600
消 去	売上高	—	—	—	—
	営業利益	17	11	△ 5	—
合 計	売上高	66,286	72,237	5,951	94,000
	営業利益	6,097	7,981	1,883	9,000